

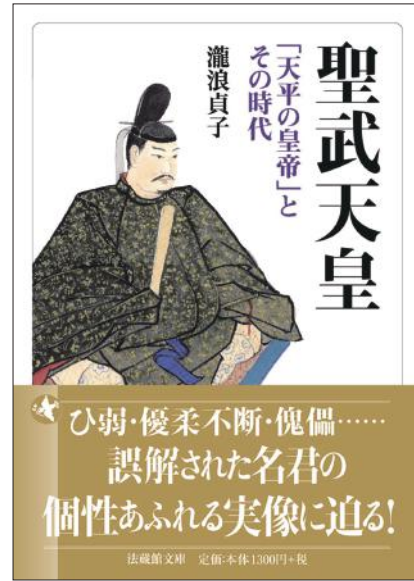
# 聖武天皇

「天平の皇帝」と  
その時代

たぎなみ さだこ

瀧浪貞子著 ▼文庫判・並製カバー・384頁・定価一、四三〇円

2022年9月刊行



聖武天皇は本当に「ひ弱な天皇」だったのか？ 「天平の皇帝」たらんとしたその生き様を鮮やかに描き、旧来の聖武天皇像に見直しを迫る。

## 【目次】

はじめに

- 第一章 不比等の孫
  - 1 母と子／2 首皇子の名前／3 城東の主
- 第二章 早すぎた父の死
  - 1 平城遷都／2 帝王教育／3 斎王卜定
- 第三章 女帝二代
  - 1 元明から元正へ／2 女帝と皇統／3 「不改常典」の申し子
- 第四章 聖武即位
  - 1 吉野行幸／2 宮子の称号／3 長屋王の悲劇
- 第五章 武智麻呂政権
  - 1 光明子立后／2 聖武と武智麻呂／3 国際関係の活発化
- 第六章 彷徨する天皇
  - 1 阿倍内親王の立太子／2 広嗣の乱と関東行幸／3 大養徳恭仁京
- 第七章 治道の失
  - 1 紫香楽宮／2 行基と優婆塞／3 大仏造立の再開

## 第八章 三宝の奴

- 1 陸奥山に黄金花咲く／2 宇佐八幡宮の謎／3 太上天皇沙弥勝満

## 第九章 娘への遺言

- 1 大仏開眼／2 別れ／3 遺詔

佐保山南陵——むすびにかえて

聖武天皇関連年表／文庫版あとがき

### ◆著者略歴

瀧浪貞子(たぎなみ さだこ)

一九四七年大阪府生まれ。京都女子大学大学院修士課程修了。京都女子大学文学部講師等を経て、一九九四年同大学教授。現在、京都女子大学名誉教授。文学博士(筑波大学)。専攻は日本古代史(飛鳥・奈良・平安)。

主な著書に『平安建都(日本の歴史5)』(集英社)、『日本古代宮廷社会の研究』(思文閣出版)、『最後の女帝 孝謙天皇』(奈良朝の政変と道鏡) (ともに吉川弘文館)、『女性天皇』(集英社新書)、『藤原良房・基経』(ミネルヴァ書房)、『光明皇后—平城京にかけた夢と祈り—』(持統天皇—壬申の乱の「真の勝者」) (ともに中公新書)がある。

注文書	
(書店印)	
ご担当	様冊
瀧浪貞子著 <b>法蔵館</b> 聖武天皇 「天平の皇帝」とその時代 【法蔵館文庫】	
ISBN: 978-4-8318-2640-4 C1121	定価一、四三〇円
お名前	住所
お電話	

ご注文はFAX: 075-371-0458

法蔵館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入  
 TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458  
<http://www.hozokan.co.jp> info@hozokan.co.jp

日本史・古代